

## おはなし手袋 「ももたろう」

- ・初めての方でも演じやすいように作成しておりますので原作と少し内容が違う部分もありますがご了承ください。
- ・慣れてきたらセリフや動きを増やしてみてもアレンジしてみてください。  
(例：動物たちが仲間になった後『♪～ももたろうさんももたろうさん』と桃太郎の歌をうたう等)
- ・「」の部分はセリフなので指を動かしたり手に持ちながら話すと子どもたちに分かりやすいです。

## ◎登場人物（部品表）

ももたろう	イヌ	サル	キジ
			
オニ	おにがしま	たからばこ	もも
			
きびだんご			
			

## ◎シナリオ

	写真	セリフ (○) 動かし方 (★)
1		<p>○むかしむかしあるところにおじいさんとおばあさんが住んでいました。</p> <p>おじいさんは山へしばかりに、おばあさんは川へせんたくに行きました。おばあさんが川でせんたくをしていると、</p> <p>★もも登場</p> <p>○ドンブラコ、ドンブラコと、大きなももが流れてきました。</p>
2		<p>○そして、おじいさんとおばあさんがももを食べようと切ってみると、なんと中から男の子がでてきました。</p> <p>ももから生まれた男の子を、おじいさんとおばあさんは桃太郎と名付けました。</p> <p>★ももたろう登場</p> <p>大切に育てられたももたろうは大きく育って、やがて強い男の子になりました。</p>
3		<p>★ももを後ろへ、鬼ヶ島登場</p> <p>○ある日、鬼ヶ島の悪い鬼の噂を聞いたももたろうは「ぼく、鬼ヶ島(おにがしま)へ行って、わるい鬼を退治します」おばあさんにきび団子を作ってもらおうと、</p> <p>★きびだんご登場</p> <p>鬼ヶ島へ出かけました。</p>
4		<p>★イヌ登場</p> <p>○旅の途中で、イヌに出会いました。</p> <p>「ももたろうさん、どこへ行くのですか？」</p> <p>「鬼ヶ島へ、鬼退治に行くんだ」</p> <p>「それでは、きび団子を1つ下さいな。おともしますよ」</p> <p>イヌはきび団子をもらい、ももたろうのおともになりました。</p>

5		<p>★サル登場</p> <p>○そして、こんどはサルに出会いました。</p> <p>「ももたろうさん、どこへ行くのですか？」</p> <p>「鬼ヶ島へ、鬼退治に行くんだ」</p> <p>「それでは、きび団子を1つ下さいな。おともしますよ」</p>
6		<p>★キジ登場</p> <p>○そしてこんどは、キジに出会いました。</p> <p>「ももたろうさん、どこへ行くのですか？」</p> <p>「鬼ヶ島へ、鬼退治に行くんだ」</p> <p>「それでは、きび団子を1つ下さいな。おともしますよ」</p> <p>こうして、イヌ、サル、キジの仲間を手に入れたももたろうは、ついに鬼ヶ島へやってきました。</p>
7		<p>★鬼と宝箱登場</p> <p>○鬼ヶ島では、鬼たちが近くの村からぬすんだ宝物やごちそうをならべて、酒盛りの真っ最中です。</p> <p>「みんな、怖がるんじゃないよ。それ、かかれ！」</p> <p>イヌは鬼のおしりにかみつぎ、サルは鬼のせなかをひっかき、キジはくちばしで鬼の目をつつきました。</p> <p>そしてももたろうも、刀をふり回して大あばれです。</p> <p>とうとう鬼が、</p> <p>「まいったあ、まいったあ。こうさんだ、助けてくれえ」と、あやまりました。</p> <p>桃太郎とイヌとサルとキジは、鬼から取り上げた宝物を元気よく家に持って帰りました。</p> <p>★鬼ヶ島と鬼を後ろへ</p>
8		<p>そしてみんなでしあわせにくらしましたとさ。</p> <p>おしまい</p>